

# 峠のレポート



日時：平成 27 年 11 月 19 日（木）

～平成 28 年 5 月 15 日（日）

開館時間：9:00～17:00 （入場無料）

「舞台を信州の破風峠にする。  
人間の生きざまを  
表してみたい」

会場：須坂駅前 シルキービル 2 階アートギャラリー

12 月 29 日（火）～1 月 3 日（日）まで休館

◆主催/問合せ：須坂市生涯学習スポーツ課 須坂市大字須坂 1528 番地の 1  
TEL:026-248-9027 FAX:026-248-8825  
E-MAIL:shogaigakushusports@city.suzaka.nagano.jp

今回は「峠のレポート」というテーマの作品をご紹介します。

主に「信州の破風峠」を舞台にしており、峠を越える人は日本人でも東洋人でもない、単純に人物という表現で描かれています。福井敬一が表現しようとした、人と自然とかかわりあうドラマや生き様をぜひご覧ください。



昭和五十九年 峠



### 福井敬一と常設展について

明治 44 (1911) 年台湾生まれ。帝国美術学校卒業後、油彩画を中心に行き、国内美術界をリードしてきました。昭和 28 (1953) 年「上高井美術同好会」の講師となり、以来 37 年間にわたり毎年須坂市を訪れ、地域の美術指導にあたりました。須坂市文化会館メセナホールの縦帳「破風高原」の下絵を制作したことでも知られています。平成 15 (2003) 年逝去。その前年、自身の希望により 600 余点の作品を須坂市に寄贈しました。これらの作品を市民の芸術文化振興に活用するため、テーマを設けて展示替えを行っています。

ふくい けいいち  
福井 敬一